

年間授業計画

成瀬 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭 科目： 家庭基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（「家基705家庭基礎 気づく力 築く未来」）

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1章 これからの人生について考えてみよう 第2章 自分らしい生き方と家族 【知識及び技能】 ・ライフステージごとの特徴・課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の特徴や長所に気づき、人生を展望できるようにする。 ・家族に関する法律の理念や背景、改正点について理解する。 ・法律は自分たち一人ひとりの認識にもとづく社会の要請を受けて検討、改正されていくことを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人生をデザインするうえで必要な準備を考え、シミュレーションする。 ・こんにちの社会背景を踏まえて、具体的に生涯にわたる生活設計を考える。	1節 自分の未来予想図を描こう～生涯発達と発達課題 2節 これからの人生をデザインする 1節 自立と共生 2節 ライフキャリア 3節 共に生きる家族 4節 家族に関する法律	【知識・技能】 ・自分自身について考えるワークシートや将来についてのレポートなどを通して、自分や、人の一生についての考えをまとめることができる。 ・青年期の課題である自立や男女の平等と相互の協力などについて理解できる。 【思考・判断・表現】 人生の各ライフステージの特徴と課題について知り、社会状況を考えながら、自分の生活や将来について考えを深め、発表などを通じて考えを表現することができる。 ・男女共同参画社会の実現をめざす歩みと社会的背景について理解し、どのような青年期を生きるかを考えることができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて、意欲を持ってとりくもうとしている。 ・結婚、家族・家庭の形、家族・家庭の役割について、自分とどうかかわっているのか、興味・関心をもとうとしている。	○	○	○	10
第6章 食生活をつくる 【知識及び技能】 ・栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識を身につける。 ・食中毒に対する予防法を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・季節ごとに旬の食材があることを理解する。 ・表示の読み方を理解し、情報を正確に把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・衛生と安全に配慮して、調理することができるようになる。	1節 日本の食文化の形成 2節 私たちの食生活 3節 栄養と食品のかかわり 4節 食品の選び方と安全 5節 食事の計画と調理 6節 これからの食生活を考える	【知識・技能】 ・日本の食文化について、成り立ちや特徴を理解できる。 栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。 ・食中毒の予防法や、食品添加物の特徴をとらえることで、安全な食品について理解している。 【思考・判断・表現】 ・自分の地域の郷土料理と他の地域の郷土料理を比較し、違いを自分の言葉で表現できる。 ・自身の食生活や現在の食生活の課題を発見し、課題解決のために思考し、解決にむけての判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分自身の食生活について関心をもつとともに、自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めようとする。	○	○	○	16
定期考査			○	○		1
【知識及び技能】 ・衛生と安全に配慮して、調理することができるようになる 【思考力、判断力、表現力等】 ・調理実習において、作業の流れを判断しながらとりくむことができる。 ・食の安全と環境に配慮した食生活を送ることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・調理実習においては、積極的に参加し、とりくもうとしている。	5節 食事の計画と調理 6節 これからの食生活を考える	【知識・技能】 ・調理実習を通して、日常の食事づくりに必要な調理技術を身につけ、献立作成から後かたづけまでの一連の流れを計画し実践できる。 【思考・判断・表現】 ・栄養の機能と食品のかかわり、また食品の特性と調理との関係において、科学的な思考を身につけ、食品選択、栄養計算や献立作成など、実際の食事づくりにむけての判断ができる。 ・調理実習において、作業の流れを判断しながらとりくむことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点をもって、知識を深めようとしている。	○	○	○	12

2 学 期	<p>第3章 子どもとかかわる</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの食生活・衣生活、遊びについて理解を深める。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの食生活・衣生活、遊びについて理解を深める。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育児を学ぶ意義について理解する。 ・10代の健康が、将来生まれてくる子どもにつながっていることを理解する。 ・子どもの世界と出会うことによって、自己理解を深める。 	<p>1節 子どもとは</p> <p>2節 子どもの発達</p> <p>3節 子どもの生活</p> <p>4節 子どもをはぐくむ</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけている。 ・子どもとの接し方、子どもの衣食住にかかわる物づくりなどの技術を身につけている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生活やとりまく環境、また、現在の子育ての環境や地域社会や国の支援策や課題などについて、情報を収集し、まとめることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもをとりまく状況について、現状を知り、その課題を見つけ、解決に向けて考えようとしている。 	○	○	○	15
	<p>第4章 高齢者とかかわる</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、高齢社会への理解を世界の動向からも深める。 ・高齢者の心身の特徴や生活を客観的に理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人や家庭生活を支える社会保障制度や社会福祉についての重要性を理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者施設での利用者の過ごし方、どんな人が働いているかについてまとめる。 	<p>1節 高齢社会に生きる</p> <p>2節 高齢者を知る</p> <p>3節 高齢者の自立を支える</p> <p>4節 高齢社会を支えるしくみ</p> <p>第5章 社会とかかわる</p> <p>1節 支えあって生きる</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会の現状や高齢者の生活を知ることにより、高齢者の自立した生活とは何か、自分の考えをまとめることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会の現状、高齢者の心身の特徴や生活について積極的に知り、高齢者とかかわろうとしている。 	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>第7章 衣生活をつくる</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服の表示にはどのような種類があるのか、なぜついているのかを理解し、購入から洗濯などの管理に役立てる。 ・衣服製作を通して、衣服の構成や基礎的な縫製技術を身につける。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗剤・漂白剤・防虫剤などの種類について理解し、衣服の種類に応じた適切な選択や保管ができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服の表示にはどのような種類があるのか、なぜついているのかを理解し、購入から洗濯などの管理に役立てる。 	<p>1節 人と衣服のかかわり</p> <p>2節 衣服の素材の種類と特徴</p> <p>3節 衣服の選択から管理まで</p> <p>4節 持続可能な衣生活をつくる</p> <p>5節 衣服の構造・デザイン</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服材料の性能と特徴、衣服整理についての科学的な知識を身につけることによって、衣服を適切に選択し、管理することができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服材料・衣服整理についての基礎的な知識を身につけ、実生活での衣服管理において、適切な判断ができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の衣生活をとりまく状況について関心をもち、衣生活の改善・向上に積極的にとりくもうとする。 ・基礎縫いの確認のための実習や、衣服調査などにおいて、積極的にとりくもうとする。 	○	○	○	10
	<p>第8章 住生活をつくる</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージや住まう人の住欲求によって平面計画が変化することを理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住まいの生活空間の機能を理解し、空間の特徴や家族のイメージをすることができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰もが安全に住むための工夫を考える。 	<p>1節 人間と住まい</p> <p>2節 住まいの文化</p> <p>3節 住まいを計画する</p> <p>4節 健康に配慮した快適な室内環境</p> <p>4節 健康に配慮した快適な室内環境</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本独特の生活様式と、それに伴う住まいの特徴を理解している。 ・住まいの安全対策、住まいにおける健康管理など、実生活に役立てることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住まいの管理方法について、適切な掃除や頻度を考え、判断することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住まいの機能、住空間の計画や住環境について関心をもち、快適な住まいづくり、よりよい住生活の創造にむけて意欲的にとりくもうとする。 	○	○	○	4
	<p>第9章 消費行動を考える</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、また契約についての知識を身につけている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者としての自覚を持ち、消費者の権利と責任を考慮することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の暮らしの中で、持続可能な社会をめざした行動をすることができるようになる。 	<p>1節 消費行動と意思決定</p> <p>2節 消費生活の現状と課題</p> <p>3節 消費者の権利と責任</p> <p>4節 ライフスタイルと環境</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約、多様な販売方法や支払方法、問題商法について理解する。また、被害にあった場合の解決方法についても理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者の権利と責任について理解し、消費において自主的に行動することの必要性を理解する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源・環境に配慮した生活スタイルについて考え、実行できる。 ・日々の暮らしの中で、持続可能な社会をめざした行動をすることができる。 	○	○	○	4
定期考査			○	○		1	
					合計	70	

年間授業計画

科目名 (単位数)	子どもの発達と保育(2)	教科書:子どもの発達と保育 新訂版(実教出版)
対象学年	3	副教材1:
履修形態	選択	副教材2:
講座数	1	副教材3:
科目の目標	乳幼児の発達の特徴を理解し、乳幼児の生活と保育などに関する知識と技術を習得する。 乳幼児の健全な成長に関心を持ち、乳幼児にかかわる意欲や能力、実践的な態度を身に付ける。	
学期(予定時数)	単元	授業内容の概要
1学期中間	オリエンテーション 1. 子どもの発達と特性 2. 子どもの発達の過程	授業計画・評価について 1. 発達と乳幼児期の意義 2. 発達と保育環境 1. 子どもの発育 2. 子どもの精神発達 3. 人間関係の発達
1学期期末 (26)	3. 子どもの生活(1)	1. 生活と養護 2. 子どもの遊び (1)生活と遊び (2)平面構成と壁画① 平面構成と壁画② 平面構成と壁画③ 平面構成と壁画④発表
2学期中間	4. 子どもの保育 5. 子どもの生活	1. 保育の意義と重要性 2. 家庭保育と集団保育 3. 保育の方法 1. 子どもの遊び 様々な児童文化財の製作①
2学期期末 (28)		様々な児童文化財の製作② 様々な児童文化財の製作③ 様々な児童文化財の製作④ 様々な児童文化財の製作⑤発表 2. 子どもの栄養 栄養と食事 子どものおやつ作り 3. 子どもと行事 季節の行事の飾り
3学期 (16)	6. 保育のまとめ	1. 1年間のまとめ
評価の 観点と 方法	授業での取り組み状況 プリント・レポート・作品等の内容、提出状況 小テスト、実技テスト 保育等実習での取り組み状況	
以上の観点から総合的に評価を行う		